



江南区自治協議会

区ビジョンワークショップ報告

2021.11.25／江南区役所

1. 開催概要

■日時：2021年11月25日（木）9：30～11：00

■会場：江南区役所 302 会議室

■自治協議会委員数：30名／当日出席 27名

■企画運営：NPO 法人まちづくり学校

〈進行〉メインファシリテーター 山賀昌子

グループファシリテーター 大滝聡・小林さやか・瀬倉隆博・中村華子・長谷川敏栄

■達成目標：区の目指すすがたを実現するための取り組みに対し、プラスとマイナスの評価を行い、自治協議会としての区の将来像の方向性（今後重点を置いて取り組むこと）をまとめる。

■プログラム：5つの「目指す区のすがた」ごとに事前にグループ分けを行い、意見交換を進めた。

I. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

（1班）

II. 人と人とのつながりを大切にする安心安全

なまち（2班）

III. 創造的な産業を育む活力のあるまち（3班）

IV. 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

（4班）

V. 区民がまちづくりの主役として輝くまち

（5班）

意見交換の約束ごと

全員が発言できて、意見が多く出せるように
1人が長く話しすぎないようにしましょう。

他の人の発言には耳を傾けましょう
自分とは異なる意見は新たな気づきになるかもしれません。
否定や批判はせず、まずは受け止めましょう。

一人一人が発言するだけでなく、気になることがあったら、
どンドン話し合いましょう

グループメンバー全員で協力し合って、
良い話し合いを創り出しましょう

ワークショップでの意見交換とまとめ方(イメージ)
(現在の「目指す区のすがた」)
 1. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

各自が書いてきた付せんをグループで確認しながら貼っていきます

これまでの取り組み	取り組みの評価	これからの方向性
1. 都市機能の向上 (1) 道路網の充実	プラスの評価 マイナスの評価	「これからの未来(目指す姿)や変化を考えながら、これからの方向性を考えてみましょう」 考えてきたことを発表し、記録します。 評価が多い項目から意見交換を行うなど、全ての施策について方向性が記載されなくても構いません。
(2) 公共交通の利便性の向上	プラスの評価 マイナスの評価	
(3) 計画的な土地利用	プラスの評価 マイナスの評価	
2. 憩いの空間づくり (1) 水辺空間の活用	プラスの評価 マイナスの評価	

これからの方向性をまとめます

今後の方向性の考え方

こうありたい将来や今後の変化などを踏まえ、これから進むべき方向やどんなことに重きをおくか

未来の視点から考える
 こうしたい
 こうありたい
 未来の姿
 ビジョン

さまざまな変化や解決すべき課題

次期区ビジョンまちづくり計画の期間

いま(現状)

2021年 2023年 2030年 2040年

グループワーク開始前の説明スライド

配布プログラム

これまでと
これからを
考える

江南区自治協議会 区ビジョンワークショップ

日時：2021年11月25日（木）9：30～11：00

会場：江南区役所 302 会議室

プログラム

- 09:30 オープニング
あいさつ・趣旨説明・スタッフ紹介・プログラムの説明
- 09:40 ワークショップ～江南区のこれまでとこれからを考えよう！
9：40～ これまでの取り組みに対する各自の評価意見の発表と共有
10：00～ 今後の方向性についての意見交換
評価や今後の変化などを踏まえ、これから進むべき方向や
重きを置く取り組みなどについて
- 10:40 グループワークの結果発表
1グループ2分で意見交換の結果を発表していただきます。
- 10:55 クロージング
ふりかえりシートの記入・事務連絡など
- 11:00 終了

Mem o

■ワークショップのようす



2. グループワークのまとめ

■目指す区のすがたに対する今後の方向性（一覧）

I. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

【方向性のまとめ】

- 区内河川の水辺や袋津の迷路など江南区ならではの資源を活かしたストーリー性ある魅力的な
“つながり”のある都市計画を策定する。
- 未来を見据え、子供たちに対して地域の現実と未来を楽しく学ぶことで、地域への愛着心を
育む場をつくる。
- 住民の自立的な運営・管理も検討しながら、持続可能な都市機能と憩いの空間を創り向けて、
予算や権限を住民の声を反映させるしくみづくりをする。

1. 都市機能の向上／2. 憩いの空間づくり

- (1) まち全体からみた都市機能と憩い空間の計画をつくる。
- (2) まち全体のストーリー性を創ることで、豊かな自然と都市機能が価値あるもとしてつながる。
- (3) 江南区の人動きが見え、まちを俯瞰するマップをつかったゲームなどを使って、教育現場
などで、今から未来を見る視点でまちづくりを育む場を創っていく。
- (4) 袋津のような魅力ある迷路は、まちの宝として残す。まちを開発する、道路を整備するときは、この宝を活かす。
- (5) 区の予算と権限を自由に使える仕組みにする。

II. 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち

【方向性のまとめ】

- 「高齢者の活躍できるまちづくり」と「子育てしやすいまちづくり」の両輪をまわしていく
ことでどんな世帯も安心な地域へ。

1. いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり

- (1) 自主防と避難所運営組織を立ち上げる計画を⇒実働できる組織、リーダー育成へ。
- (2) みんなが助け合える組織づくり、コミュニティスクールの制度を活用。

2. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

- (1) 茶の間づくりの支援があると良い、もっと増やしていくべき。
- (1) 高齢者の元気な若手が活躍できる組織、チームづくり。
- (2) 地域全体で子育てする段階的な仕組み、ネットワークづくりで、子育て環境の充実へ。
- (2) 子育て世代の人口流入にもつながる。

III. 創造的な産業を育む活力のあるまち

【方向性のまとめ】

- 「緑と調和した賑わいと安らぎのあるまち」をイノベーションする。

1. 創造的な産業の育成

- (1) 江南区の農業（農産物）をよりブランディングする。
- (1) マッチングの仕組みを通して、持続的な農業を実現する。
- (2) 雇用と移住を促し、職住近接の住みやすいまちを実現する。
- (2) ターゲットを絞り、亀田縞をよりブランディングしていく。

2. 活力と賑わいのあるまちなかの創出

- (1) 子どもを絡めた地域一体でまちなかの賑わいと文化を大切にする。
- (1) 他地域との交流を活性化し、商店街の活性化、価値を生み出す。

IV. 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

【方向性のまとめ】

- 多世代と連携する。

1. 地域と共に創る子どもたちの未来

- (1) CS：メンバーの多様化
 - (1) 多世代交流ホームで、空き家活用しながら助け合い
 - (2) ボランティア：早めの情報、参加メリットの提示
 - (2) 地域に開かれた学びの場：小学校～大学まで連続した学び、大人も新しい発見ができる。
- (3) 情報発信：情報の集約と世代に合わせたツール使用

2. 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり

V. 区民がまちづくりの主役として輝くまち

【方向性のまとめ】

- 全ての世代が主役になれるまちづくり

1. 区民と共に歩む協働のまち／2. 区民の声を大切にする区役所づくり

①適切な情報発信によって活動の大切さを知ってもらう。(既に参加している人の声かけなどの努力も必要)

↓

②区民一人一人が自分ごととして捉える。

↓

③地域に馴染み、「参加」する。

↓

④参加してみると楽しいことが増える。

■各グループの意見と集約

I. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

方向性のまとめ	<p>○区内河川の水辺や袋津の迷路など江南区ならではの資源を活かしたストーリー性ある魅力的な”つながり”のある都市計画を策定する。</p> <p>○未来を見据え、子供たちに対して地域の現実と未来を楽しく学ぶことで、地域への愛着心を育む場をつくる。</p> <p>○住民の自立的な運営・管理も検討しながら、持続可能な都市機能と憩いの空間を創り向け、予算や権限を住民の声を反映させるしくみづくりをする。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

これまでの取り組みの評価		今後の方向性		
		個別意見	方向性のまとめ	
1. 都市機能の向上				
(1) 道路網の充実	ブラ ス	<p>横越バイパス整備により交通の分散ができてきた。更に国道49号との接続が期待される。</p> <p>.....</p> <p>殆どの道路が舗装された。</p> <p>.....</p> <p>路側帯の安全な色別表示。</p> <p>.....</p> <p>一方通行化など、大胆に車の流れを改善し、不要な道路をなくす。</p>	<p>・周辺道路と居住地道路の見直して(信号時間差の見直し等も含め)全体の流れを良くする。</p> <p>.....</p> <p>・交通の流れの見直しには全体の計画性をもって見直す。</p>	
	マイ ナ ス	<p>新潟中央環状道路、信濃川渡河橋の整備は予定通り進むのか。</p> <p>.....</p> <p>中央環状道路整備に関して、江南区が独自で提案依頼した内容があるのか。あるならどの様な決集が得られたか見えてこない。</p> <p>.....</p> <p>道路の幅員が狭い。</p> <p>.....</p> <p>ガードレールの未設置箇所が多い。</p> <p>.....</p> <p>周辺道路と居住地の道路の繋がりが悪く渋滞が発生。特に交差点の右折が問題。</p> <p>.....</p> <p>鶴ノ子ICもさらなる渋滞解消に期待したい。</p> <p>.....</p> <p>道路網完了前に利用者が減るのでは？</p>	<p>・地域に必要な「袋津」のような魅力的な狭い道は残すことが大切。</p> <p>.....</p> <p>・どこにいけるのかわかるような「まちのストーリー性」のある道路網を見える形にして市民や外部に発信する。</p> <p>.....</p> <p>・車だけでなく自転車道の整備も必要。</p> <p>.....</p> <p>・上記のような様々「つながり」を網羅した整備をする。</p>	
(2) 公共交通の利便性の向上	ブラ ス	<p>区バス運行内容の定期的な見直しで利用しやすく。区バス→亀田駅→新潟駅。移動の可能性。</p> <p>.....</p> <p>区バス、住民バスの利用者数を調査・記録し続けているのは評価できる。現状を数値化し把握することは重要。</p> <p>.....</p> <p>地域内交通の見直し改善。</p> <p>.....</p> <p>デマンドタクシーの推進。補助制度で支援。</p> <p>.....</p> <p>地元スーパーの協力のもと移動スーパー事業を推進する。</p> <p>.....</p> <p>公共交通の必要性は増す。</p>	<p>・30年先の地域内交通の「足(買い物や通院)」を確保することが一番大切。</p> <p>.....</p> <p>・住民だけでなく、交流人口を増やすことが公共交通の持続につながる。</p>	
	マイ ナ ス	<p>区バス・駅との接続の利便性の向上</p> <p>.....</p> <p>江南区未来づくりプロジェクト</p> <p>.....</p> <p>新駅(江南駅)の整備の計画、進行状況、予定の明確化</p> <p>.....</p> <p>発信、イメージ広報</p> <p>.....</p> <p>利用者増が見込めない中、区バス・住民バスの運営には限界がある。</p> <p>.....</p> <p>高齢化により買い物に行けない。</p> <p>.....</p> <p>公共交通に合わせたまちづくり</p>	<p>・公共交通を考えるうえで、土地の利用計画も合わせて考える。</p>	
(3) 計画的な土地利用	ブラ ス	<p>農村集落の畑、住宅の再開発による住宅・住民増加により、子育て世代の増加で地域コミュニティの活発化。</p> <p>.....</p> <p>江南区内における調整区域内既存集落のエリア拡大は評価できる。</p> <p>.....</p> <p>開発許可件数1位は、交通の便や魅力的な商業施設があったりと立地的に素晴らしいところが江南区だと思う。</p> <p>.....</p> <p>計画的土地利用で、行政コスト削減。</p>	<p>・調整区域の制限を緩和→必要な規制を持続する。</p>	
	マイ ナ ス	<p>農村集落に隣接する部分(市街化調整区域)の開発許可の柔軟性向上。コミュニティ、住民の生活の活性化、安心安全につなげるため。</p> <p>.....</p> <p>既存集落内の道路に面する敷地は、すでに市街化が進んでいるので、路線面は既存集落制度ではなく市街化区域とすべき。</p> <p>.....</p> <p>調整区域が多すぎるだけという見方もできる。</p> <p>.....</p> <p>地域格差がある。</p> <p>.....</p> <p>農業用施設によった集落づくりは限界。</p> <p>.....</p> <p>規制緩和による宅地開発の推進</p> <p>.....</p> <p>休耕地の有効活用</p>	<p>・現在の調整区域は現状を踏まえて、商業地域、住居地域、観光地域など、現状の隣接する地域の開発を認める方向で緩和していく。</p> <p>.....</p> <p>・現状に合わせた開発が、空地・空家利用につながり、インフラ整備とも一体としてつながっていく。</p>	

1. まち全体からみた都市機能と憩い空間の計画をつくる。
2. まち全体のストーリー性を創ることで、豊かな自然と都市機能が価値あるものとしてつながる。
3. 江南区の人々の動きが見え、まちを俯瞰するマップをつかったゲームなどを使って、教育現場などで、今から未来を見る視点でまちづくりを育む場を創っていく。
4. 袋津のような魅力ある迷路は、まちの宝として残す。まちを開発する、道路を整備するときは、この宝を活かす。
5. 区予算と権限を自由に使える仕組みにする。

2. 憩いの空間づくり			
(1) 水辺空間 の活用	ブ ラ ス	環境用水の活用 水辺の活用が活発に行われている(小阿賀野川)。 「いい汗食江南健康ライド」を毎年実施していることは、江南区魅力発信に大変好ましい。	<ul style="list-style-type: none"> ・つり、レジャー、モトクロス、自転車など特に金をかけずに水辺を整備し、それを活かすことで交流人口が増え、地元を磨くこと(地元の魅力をどんどん発信する)につながる。 ・江南区内の阿賀野川、小阿賀野川、信濃川などそれぞれの河川により状況が違う。管理と規制、緩和のバランスが大事。運営では使いたい人が管理する仕組みをつくる。 ・これらをうまく活かし運営できると江南健康ライドも年間でうまく動かせる。
	マ イ ナ ス	「いい汗食江南健康ライド」に参加しているが、もっとサイクリングロードを整備すべき。特に、水辺はまだ整備可能と感じる。 水辺活用イベントをもっと企画実施すべき。 交通量が多い県道があり、歩行者の横断がしづらい。道路整備のハードルが高い。	
(2) 公園の整 備	ブ ラ ス	公園が多くていい。 レクリエーション機能と防災機能を備えた過大な施設にしない。 公園遊具の安全確認。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は、いろいろな人に向けてそれに対応する整備が必要。たとえば、子供、キャンプ、水辺など。 ・地域の小さな休める公園にはトイレや水栓は必要など、公園の規模と用途に合わせて設備を整備する。 ・このような様々な公園等を点と線でつなぐ計画が必
	マ イ ナ ス	公園の整備や環境保全にお金がかかり過ぎる。 防災機能を目的に対応したのならもっと周知/アピールすべきではない。 公園整備で平時の整備に加え、非常時の際に利用できる整備(ハザードマップ確認)。再設置の場合に(防災ベンチ等)。	
(3) 環境保全	ブ ラ ス	地域のお茶の間やコミュニティ活動により課題解決の基盤を作り上げる。 子どもたちと一緒に地域課題を考え活動し、将来の人材を育成する教育に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・一番大切なのは、コミュニティの基盤をつくること。
	マ イ ナ ス	人々の繋がりが希薄になっている。特にコロナ禍で拍車がかかった。 地域活動に参加する人材が減少している。 ゴミ分別の徹底強化 ゴミの分別不良により、分別員にどれだけ危険や困難があるか。一般に周知不足。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の見える化をする。見学ツアーや、住民が理解できる仕組みづくりなど。 ・一人一人のモラルの問題であるが、そこを啓蒙することで、ゴミ問題や不法投棄の解消につながる。

II. 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち

方向性のまとめ		「高齢者の活躍できるまちづくり」と「子育てしやすいまちづくり」の両輪をまわしていくことでどんな世帯も安心な地域へ。	
これまでの取り組みの評価		今後の方向性	
		個別意見	方向性のまとめ
1. いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり			
(1) 地域防災力の強化	ブラス	中学生が災害時に活動すると戦力となる。 自主防災組織化すると実施や参加につながった。 自主防災組織の結成率の増加 ハザードマップの作成と周知	動きが良くなる。
	マイナス	ジュニアレスキュー受講生の中学生がそのまま成長しても防災リーダーになってない。 横越地域結成率が低い。地域での活動もない。 各自治会での防災講座の実施 防災訓練は、多人数が集まるため、新型コロナウイルス感染拡大のリスクがある。 人事だと思っているところがある。災害がない。 防災訓練参加者の固定化 現行の自主防組織の問題 自治会との繋がり薄い。 防災訓練のマンネリ化	高校生や大学生になって地域で活動している子がいないのではないかと。 参加して欲しい人たちはこない。企業連携していない。働いている人は参加しづらい。 作っただけで終わっている。活動に至っていないところも多い。 いつも同じ内容である。
(2) 犯罪・交通事故の起こりにくい環境づくり	ブラス	街頭指導の実施により朝の通学時に交通事故の減少した。 防災カメラのが設置できた。 あいさつ運動、PR	地域の人の努力でいい方向になっていると感じる。
	マイナス	スタッフになる人が少ない。	なりたい人がいない、若い人、親の世代は忙しい。
2. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり			
(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり	ブラス	お茶の間が高齢者の生きがいとなり楽しんでいる。 お茶の間開設後、活性化している。 地域の茶の間は開設してよかった。 景観が良い、田園風景の路、介護施設がたくさんある。 支えあいのしくみづくりは会議が継続しており、考える機会がある。 (大江山) 買物支援の輪が広がって来ている。	毎回楽しみにしている高齢者が多い。 考え続けていくことが大事。
	マイナス	もっと老人が安心して暮らせる地域に。 にない手はない。 高齢者の在宅介護に関する認識がない。 デジタル格差があり、電子機器不可の人と差が出来すぎ。 コロナ禍で閉じこもり増。健康づくりの取り組み。 障がい者へ理解不足で接し方がわからない人が多い。 農福連携など様々な分野と連携して取り組む必要がある。 自治会とのつながりが薄い。	開催側の人材が高齢化していき、担い手がない。 学ぶ場がない。 ワクチン予約時に非常に課題を感じた。 孤立化が問題ではないか。 学ぶ機会がない。 今後の課題としたい。
(2) 子どもを安心して産み育てられるまちづくり	ブラス	パパノートは育児参加のきっかけには良い。 学校運営委員会協議会の設置 かめっ子広場子育て支援センターは人気ある。	コミュニティスクール→子育てしやすい社会へ 江南区は子育てしやすい印象
	マイナス	育休とりやすい社会ではない。 地域全体で子どもたちとのいろいろな交流が必要。 子育て応援団と子育て支援の関わりは今は少ない。 世帯状況に応じた支援が必要。 子育て成長過程に応じた段階的な支援	地域の企業が育休を取りやすくなったら。 運動していくとよい。 運動していくとよい。

Ⅲ. 創造的な産業を育む活力のあるまち

方向性のまとめ		「緑と調和した賑わいと安らぎのあるまち」をイノベーションする。		
これまでの取り組みの評価		今後の方向性		
		個別意見	方向性のまとめ	
1. 創造的な産業の育成				
(1) 農業の振興	ブラス	(道の駅など)南区以外も含めて農産物の販売所は増えている。 エネルギーの次は、食料自給率のはずだと思う。やり方で未来はある。 区民が農に親しめる機会は増えている。 農業と若手店主とのつながりがでてきている。 もうかる農！休める農！リッチな農！AI、ロボットの利用	食べ物を中心にもっとブランディングをする必要がある。	江南区の農業(農産物)をよりブランディングする。
	マイナ	米価が下がっている。米価が下がり、担い手はやる気を失っている。 農地の集積・集約化について不十分。規模拡大したい担い手が農地を集約できていない。 田んぼが公共工事にかかることを待っている人も多いと感じる。 園芸(儲かる)ものへの転換が必要 高齢化が進んでいる。 跡継ぎが少ない。	農地の集約化・規模拡大を経て、儲かる休める農へ。 農地に関するマッチングをするための場づくりが必要。 農業人口が減っても稼げる農を実現する。 農業人口が減っても稼げる農を実現し、新規参入を促す。 農業人口が減っても稼げる農を実現し、新規参入を促す。	マッチングの仕組みを通して、持続的な農業を実現する。
(2) 新たな産業の創出	ブラス	工業用地と早期実現したことにより経済活性と雇用創出が期待でき、評価できる。 工業用地が増えると雇用の場が増えることに期待したい。 亀田縞について、地元での知名度向上(風鈴、江南消防署)に努めていると思う。 若手デザイナーもマスコミの目につくようになった。	工業用地の誘致と住宅地(ニュータウンと空き家)の用意をする。 工業用地と住宅地をつなぐ交通インフラの確保が求められる。 空き家は需要のあるターゲットに絞る、マッチングの場があると良い。	雇用と移住を促し、職住近接の住みやすいまちを実現する。
	マイナ	工業用地について、未利用地について企業誘致を図っていかねばならない。 亀田縞について、そもそも和装文化が無くなってニーズが少ない。 亀田縞に暗いイメージがある。 工業用地で働く人向けの住宅地が必要なのでは。 亀田縞の国内での知名度は低い。	マーケティングのターゲットを近郊に絞る(ホテルなど)。 「汚れてもいい」亀田縞を生かすアイデアが求められる(ベッドライナーなど)。 ニュータウンを作るか空き家を活用できるマッチングの場が必要。 地道なPRが必要。若手デザイナーとのコラボも良い。	ターゲットを絞る、亀田縞をよりブランディングしていく。
2. 活力と賑わいのあるまちなかの創出				
(1) まちなかの活性化と交流人口の拡大	ブラス	三九マルシェの人出では、雨の割に多かった。 三九マルシェに来ていたキッチンカーがよかった。 他地域の市も少ないが頑張っている(酒屋二七の市)。 まち中の活性化について、地元の小学校と連携した取組(ストリートギャラリーなど)は親も商店街を訪れるため効果あり。 三九マルシェで飲食ブースは、若い人や親子連れも多かった。 テレワーク増→コワーキングスペースの確保で取り込み可能	交流人口のために三九マルシェを続ける。 まちなかの賑わい、文化をこれからも大切にする。 子どもを絡めて地域一体で活性化する。	子どもを絡めた地域一体でまちなかの賑わいと文化を大切ににする。
	マイナ	ゆめまつり酒屋がコロナ禍で開催されず。 新規開業者が少なく商店街の店減少でコミュニティ維持がむずかしい。 起業したい人向けの空店舗が少ない(空店舗の裏が自宅など)。 三九マルシェの駐車場がわかりにくく、台数も少ない。 三九マルシェの店舗数が減っている。 出店している人たちが高齢化している。	「そこにしかない」ものを生み出し、商店街の活性化、維持を目指す。 他地域の市との交流を活性化し、同じ商品でも違う売り方を活用する。	他地域との交流を活性化し、商店街の活性化、価値を生み出す。

IV. 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

方向性のまとめ		多世代と連携する		
これまでの取り組みの評価		今後の方向性		
		個別意見	方向性のまとめ	
1. 地域と共に創る子どもたちの未来				
(1) 生涯にわたり学びの機会を提供	プラス	多彩な講座等の開催	子どもたちの明るい未来を願う姿勢が素晴らしい。 子どもたちだけでなく、中年、老年の未来もヨロシク。 多世代交流ホームで空き家活用や、子育て世代を時間がある人が支援できれば。通いや住むなどもできれば。 CSはボランティアをよくする人、学校をより知ろうとする人などメンバーが多様になり、地域人材の発掘、コーディネーターの活用、情報共有ができれば ボランティアは時間の関係で、できる人が限られる、はやめに分かれば。謝礼のない心苦しさから、知識が得られるなどのメリットもみせてもらえれば	CS:メンバーの多様化
	マイナ	コロナ禍により実行できなかった。	多世代交流ホームで空き家活用や、子育て世代を時間がある人が支援できれば。通いや住むなどもできれば。	多世代交流ホームで、空き家活用しながら助け合い
(2) 学・社・民の融合による教育の推進	プラス	コミュニティ・スクールのプロポーザル化:協力者の声が大きいとそればかりが反映されていくのではないか。 パートナー事業を活用した教育の推進、コミュニティ・スクールプロポーザルなど世界が広がる、見解が深まる。 学校支援のボランティア参加の延べ人数が増えていることは素晴らしい。		ボランティア: 早めの情報、参加メリットの提示
	マイナ	ボランティアをやってみたいと思うが、ごみだし、清掃活動位しかない。もっといろんなボランティアはどこに聞いたらよいのかわからない。 中学生、高校生の考えた取り組みをもっと増やせれば。 ボランティアつかれ: ボランティアの延べ人数が増えるということは同じ人が重複しているということではないか? 学校、教育委員会、理解しているようだが、説明がないので、これまでのさまざまな事業とかわらない。名前だけが大きくなっている。 市立大学の新設: 書道・ダンスはトップレベル、それに特化した学部を、都市計画など。		地域に開かれた学びの場: 小学校～大学まで連続した学び、大人も新しい発見ができる
(3) 家庭教育への支援	プラス	中高生向けの学習教室の取り組みが良い 家庭教育学級など、子どもにとっても大人にとっても役立っていていいと思います!! (福祉の「きらとびあ」) 未就学の子供達への支援(かむかめネット)がいい GIGAスクールが進み、iPadも使って子どもたちが楽しく授業をしている。ネットを有効活用することにより生活の幅が広がった。		情報発信: 情報の集約と世代に合わせたツール使用
	マイナ	周知不足だったのか、児童期・思春期の家庭教育のところに力を入れてはどうか 子育て情報が他の区と比べて、情報量が少ない(かむかめネットは、子どもを連れて行ける店などの情報がほしいが、宣伝になるから載せてはいけないという規制があるよう)。 ヤングケアラーは江南区での把握は? それに対する対策は? ネット、SNSの社会について、低学年のうちから教えておくべき、ネットの世界も普通の世界と同じ基準の善悪		
2. 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり				
(1) 文化の振興・文化の創造	プラス	学校から継続した環境を地域と連携してつくるべき(小→中→高→大学)。 文化祭は子どもの学習の発表の場で地域に開かれたものになれば。大人も新しい発見があるようなものになれば。 情報発信は若い世代(ネット)とそれ以上の世代(広報誌、新聞など)で見えるものが変わる。細かく情報を載せたり、情報を集約することが必要。 SNSは実際にみる世代と、見てもらいたい年代が異なる。お互いに見る意識を高められれば。		
	マイナ	文化祭を作品を見るだけでなく、まとめ学習の発達の間になれば。		

(2) 歴史や伝 統の継承	ブ ラ ス	区内の歴史的建造物「倉」をフィールドワークにしたらどうだろうか？ 各学校とも力を入れているので、子供たちに伝わっていると思う。		
	ナ マ ス イ	子どもは地域学習で学んでいるが、大人が知らないことも多い。 砂丘講話の活用、防災につなげるなどできれば。		
(3) スポーツ 活動の支 援・振興	ブ ラ ス	スポーツイベントの多数開催		
	マ イ ナ ス	地域でのスポーツ指導者が不足しているのでは？資格が必要などの基準がある？部活時間の16:00頃は仕事している。 無償のボランティアをやるには勤労世代には負担が大きい。時間が ない。 ボランティアは少額で有償もあり？家族からの理解も必要。 子どもに地域のスポーツ活動をさせるとき、情報が見つけにくい(ネットにないので知り合いづてになる)。		

V. 区民がまちづくりの主役として輝くまち

方向性のまとめ	全ての世代が主役になれるまちづくり
---------	-------------------

これまでの取り組みの評価		今後の方向性		
		個別意見	方向性のまとめ	
1. 区民と共に歩む協働のまち				
(1) 区自治協議会との協働	プラス	区自治協と区役所との共催・連携の関係性は良好だと思う。 自治協と地域の取り組みはとてもよいと思う。 区役所はコミ協単位、自治協単位、事業内容に合わせて効率よく情報発信できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの楽しさをもっと多くの人に知らせたい。 ・どうやって参加すればいいかを導くことが大切。 ・災害時にも役立つ「助け合いの充実」を図る。 ・何のためにこの活動をしているかを再認識する必要がある。 ・住民への声かけが自治の基本！ ・区ビジョンに沿ってコミ協の事業を組み立てる。 ・コロナで止まった活動をどう再開させるかがポイント(2年間のブランクは大きい)。 <p>①適切な情報発信によって活動の大切さを知ってもらう。 (既に参加している人の声かけなどの努力も必要)</p> <p>↓</p> <p>②区民一人一人が自分ごととして捉える。</p> <p>↓</p> <p>③地域に馴染み、「参加」する。</p> <p>↓</p> <p>④参加してみると楽しいことが増える。</p>	
	マイナス	地域の課題解決という点で、課題と事業の関係性がどれだけ解決に寄与したかの評価軸が曖昧だと感じる。 コミ協内も自治用、その役割を理解できていない。 認知度を上げるには時間が必要ではないか。		
(2) コミュニティ活動への支援	プラス	コミ協の認知度は以前に比べれば周知されているように思う。 コミ協への補助金が維持している。 曾野木地区などの市営住宅跡地の活用について、地域の活動に繋がっているように感じる。 地域課題解決プロジェクトの実施。各コミ協の地域実態対応の事業展開。		
	プラス	コミ協があることで自治会単位では行えないイベントを開催したり。問題に対応することができている。		
	マイナス	コミ協自体がコミ協に求められる機能を果たしていない地域もある。 コミ協の事業への参加や協力が、自治会からは得られていないように思われる。 コミ協ということばは知っているが、参加する、参加しようという意識はない。 コミ協の認知度が依然低い。 区からの補助があることを、もっと分かると参加しやすいのでは。		
	プラス	区自治協と区役所との共催・連携の関係性は良好だと思う。 自治協と地域の取り組みはとてもよいと思う。 区役所はコミ協単位、自治協単位、事業内容に合わせて効率よく情報発信できる。		
2. 区民の声を大切に作る区役所づくり				
(1) 親しまれ信頼される区役所	プラス	区役所に入ると、案内係の方のあいさつで迎えていただき、いつもうれしい。 コンシェルジュ配置が有効に機能している。 笑顔で対応され、安心して話ができる。 コロナ禍の感染対策をふまえた窓口サービスを行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんは皆好意的に接してくれる。これが親しまれる区役所になる基盤だと感じている。
	マイナス	課を跨いでの連携が難しい。 除雪の技術が悪い。 コロナ禍で区役所のあり方、行政サービスのあり方も問われる時代。様々な手続きを電子化していくべきでは？		
(2) 広報・広聴の充実	プラス	区長懇談会の実施。自治・町内会長の参加、住民の生の声を聴取。 新たなツールを取り入れ、取り組んでいくところはgoodだと思う。 区だよりや新聞などからの情報を楽しみにしている。 区役所だより、広報・公聴の充実。		<ul style="list-style-type: none"> ・広報・広聴に関してはもっと戦略的に愛情を持って発信する力をつけてもらいたい(お年寄りやネット利用が難しい、新聞を取らない家庭も増えている)。 ・そのため今ある広報ツール(SNSや回覧板など)を適材適所に使って多様な世代にアピールしていく必要がある。 ・若い人や高齢者も情報が取りやすい仕組みをつくる。 ・上記のようなことを行っていくと参加が増える。
	プラス	ツールが増えた反面、活用というところまではできていないように感じる。 区役所だより、Facebook、公式LINE等、それぞれが単発で運動していない。QRコードやリンクを張るなどの運動を。 新聞購読者は確かに減少している。 若い世代はインターネットなどを活用できるが、高齢者には厳しい。高齢者は新聞を取っていない方が多いと思う。 区だよりなどは新聞折り込みみせず、全戸配布できる方法があるとよいのでは。		
	マイナス	情報発信に区内のお店と協力してSNSなどから見れるとよいと思う。 区長の声を聴く機会はあるが、それをより広く区民に伝える必要がある。 Facebookはイベント告知ばかりで、イベントの様子、結果を載せていないので、次のイベントへつなげられていない。		
	プラス	区自治協と区役所との共催・連携の関係性は良好だと思う。 自治協と地域の取り組みはとてもよいと思う。 区役所はコミ協単位、自治協単位、事業内容に合わせて効率よく情報発信できる。		

■各グループの意見交換の記録（ワークシート）

2021.11.26/江南区
区ビジョンまちづくり計画ワークショップ

I. 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち【1班】

これまでの取り組み	取り組みの評価	今後の方向性	方向性のまとめ
1. 都市機能の向上		1. 都市機能の向上	
(1) 道路網の充実	プラスの評価: 歩行者優先の歩道整備、自転車優先の自転車道整備、バス優先のバス専用レーン整備 マイナスの評価: 歩道が狭い、自転車道が整備されていない、バス専用レーンが狭い	歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、都市機能の向上を図る。歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、都市機能の向上を図る。	歩道の確保と歩道の確保と歩道の確保
(2) 公共交通の利便性の向上	プラスの評価: バス専用レーン整備、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: バス専用レーンが狭い、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、公共交通の利便性を向上させる。歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、公共交通の利便性を向上させる。	歩道の確保と歩道の確保と歩道の確保
(3) 計画的な土地利用	プラスの評価: 歩道整備、自転車道整備、バス専用レーン整備 マイナスの評価: 歩道が狭い、自転車道が整備されていない、バス専用レーンが狭い	歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、計画的な土地利用を実現させる。歩道と自転車道とバス専用レーンを整備して、計画的な土地利用を実現させる。	歩道の確保と歩道の確保と歩道の確保
2. 緑の空間づくり		2. 緑の空間づくり	
(1) 水辺空間の活用	プラスの評価: 水辺空間の活用、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 水辺空間が活用されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	水辺空間を活用して、緑の空間づくりを実現させる。水辺空間を活用して、緑の空間づくりを実現させる。	水辺空間の活用と水辺空間の活用と水辺空間の活用
(2) 公園の整備	プラスの評価: 公園の整備、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 公園が整備されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	公園を整備して、緑の空間づくりを実現させる。公園を整備して、緑の空間づくりを実現させる。	公園の整備と公園の整備と公園の整備
(3) 環境保全	プラスの評価: 環境保全、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 環境が保全されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	環境を保全して、緑の空間づくりを実現させる。環境を保全して、緑の空間づくりを実現させる。	環境の保全と環境の保全と環境の保全

2021.11.25/江南区
区ビジョンまちづくり計画ワークショップ

II. 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち【2班】

これまでの取り組み	取り組みの評価	今後の方向性	方向性のまとめ
1. いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり		1. いつまでも安心安全に暮らせるまちづくり	
(1) 地域防災力の強化	プラスの評価: 地域防災力の強化、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 地域防災力が強化されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	地域防災力を強化して、いつまでも安心安全に暮らせるまちづくりを実現させる。地域防災力を強化して、いつまでも安心安全に暮らせるまちづくりを実現させる。	地域防災力の強化と地域防災力の強化と地域防災力の強化
(2) 犯罪の起こりにくい環境づくり 交通事故の起こりにくい環境づくり	プラスの評価: 犯罪の起こりにくい環境づくり、交通事故の起こりにくい環境づくり、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 犯罪の起こりにくい環境づくりが実現されていない、交通事故の起こりにくい環境づくりが実現されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	犯罪の起こりにくい環境づくりと交通事故の起こりにくい環境づくりを実現させる。犯罪の起こりにくい環境づくりと交通事故の起こりにくい環境づくりを実現させる。	犯罪の起こりにくい環境づくりと犯罪の起こりにくい環境づくりと犯罪の起こりにくい環境づくり
2. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり		2. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	
(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり	プラスの評価: ずっと安心して暮らせる地域づくり、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: ずっと安心して暮らせる地域づくりが実現されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	ずっと安心して暮らせる地域づくりを実現させる。ずっと安心して暮らせる地域づくりを実現させる。	ずっと安心して暮らせる地域づくりとずっと安心して暮らせる地域づくりとずっと安心して暮らせる地域づくり
(2) 子どもを安心して暮み育てられるまちづくり	プラスの評価: 子どもを安心して暮み育てられるまちづくり、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 子どもを安心して暮み育てられるまちづくりが実現されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	子どもを安心して暮み育てられるまちづくりを実現させる。子どもを安心して暮み育てられるまちづくりを実現させる。	子どもを安心して暮み育てられるまちづくりと子どもを安心して暮み育てられるまちづくりと子どもを安心して暮み育てられるまちづくり

1班

2班

2021.11.25/江南区
区ビジョンまちづくり計画ワークショップ

III. 創造的な産業を育む活力のあるまち【3班】

これまでの取り組み	取り組みの評価	今後の方向性	方向性のまとめ
1. 創造的な産業の育成		1. 創造的な産業の育成	
(1) 農業の振興	プラスの評価: 農業の振興、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 農業が振興されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	農業を振興して、創造的な産業を育成させる。農業を振興して、創造的な産業を育成させる。	農業の振興と農業の振興と農業の振興
(2) 新たな産業の創出	プラスの評価: 新たな産業の創出、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: 新たな産業が創出されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	新たな産業を創出して、創造的な産業を育成させる。新たな産業を創出して、創造的な産業を育成させる。	新たな産業の創出と新たな産業の創出と新たな産業の創出
2. 活力と賑わいのあるまちなかの創出		2. 活力と賑わいのあるまちなかの創出	
(1) まちなかの活性化と交流人口の拡大	プラスの評価: まちなかの活性化と交流人口の拡大、歩道整備、自転車道整備 マイナスの評価: まちなかの活性化と交流人口の拡大が実現されていない、歩道が狭い、自転車道が整備されていない	まちなかの活性化と交流人口の拡大を実現させる。まちなかの活性化と交流人口の拡大を実現させる。	まちなかの活性化とまちなかの活性化とまちなかの活性化

3班

2021.11.25/江南区
区ビジョンまちづくり計画ワークショップ

IV. 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち【4班】

これまでの取り組み	取り組みの評価	今後の方向性	方向性のまとめ
1. 地域と共に暮らす子どもたちの未来			
(1) 生涯にわたる学びの機会を提供	プラスの評価 マイナスの評価	子どもたちの未来 CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会	CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会
(2) 学・社・民の機会による教育の推進	プラスの評価 マイナスの評価	CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会	CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会
(3) 家庭教育への支援	プラスの評価 マイナスの評価	CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会	CS 習いごと 体験学習 生涯学習 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会 学びの場 学びの機会
2. 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり			
(1) 文化の振興・文化の創造	プラスの評価 マイナスの評価	文化祭 祭典 イベント イベント イベント イベント イベント イベント イベント イベント	文化祭 祭典 イベント イベント イベント イベント イベント イベント イベント イベント
(2) 歴史や伝統の継承	プラスの評価 マイナスの評価	歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統	歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統 歴史 伝統
(3) スポーツ活動の支援・振興	プラスの評価 マイナスの評価	スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動	スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動 スポーツ 活動

4 班

2021.11.25/江南区
区ビジョンまちづくり計画ワークショップ

V. 区民がまちづくりの主役として輝くまち【5班】

これまでの取り組み	取り組みの評価	今後の方向性	方向性のまとめ
1. 区民と共に歩む協働のまち			
(1) 区自治協議会との協働	プラスの評価 マイナスの評価	協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働	協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働 協働
(2) コミュニティ活動への支援	プラスの評価 マイナスの評価	コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動	コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動 コミュニティ 活動
2. 区民の声を大切にする区役所づくり			
(1) 親しまれ信頼される区役所	プラスの評価 マイナスの評価	区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所	区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所 区役所
(2) 広報・広聴の充実	プラスの評価 マイナスの評価	広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴	広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴 広報 広聴

5 班

3. 参加者のふりかえり

シート回収数 24 枚

〈Q1〉全体の満足度

平均値 4.50

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

■とても満足した (13名)

- ・たくさんの意見、思いが聞けてよかった。
- ・たくさんの意見が出た。
- ・様々な立場から意見が出ていてよかった。
- ・活発な意見交換ができた。
- ・みんなで一緒に未来を描きながら話せたことがとても嬉しかった！
- ・地域を皆で考えていくのは非常に有意義で楽しかった。
- ・テーマについて活発に意見交換ができた。
- ・色々な意見が聞けて楽しかったし、勉強になりました。
- ・自分の気づかない意見が多かった。
- ・私の知らない課題について、自由に話しあいながら知ることができた。
- ・自分の意見が言える場所があってよかった。
- ・事前の宿題がまとめて役立った。

- ・事前の宿題を取り入れながら、スムーズに進行できて良かったです。
- ・いつも違う少人数制でとても話しやすい環境でした。
- ・楽しかったから。
- ・実現性が高いものが多く、来年度以降の事業策定に活きるのではないか。
- ・区の活性化、区の進む方向、何をする、どう対応する、夢ある街づくりに〇〇できると思う。
- ・まだまだ高齢者が元気だなと思った。

■満足した（10名）

- ・活発な意見交換だった。
- ・いろいろな人の意見が聞けた。
- ・他の人の意見が聞けました。個々の思いを聞くことで自分の意見を見直せたりできました。
- ・事前の課題を持ちよった事で多くの意見が出た。
- ・日頃思っていることを提示でき、他の方の意見も聞けたこと。
- ・沢山の意見、生の言葉はうれしかった。
- ・ワークショップの流れが分かりやすく、意見が多く出て良かったです。
- ・コロナ禍でなかなかできなかったワークショップでしたが、有意義な時間でした。
- ・時間がもう少しほしかった。

■普通（1名）

- ・まとまりもありよかった。

〈Q3〉WSでの気づき

- ・地域の方の意見、考え、改めて聞いて参考になった。
- ・多様な意見。
- ・多数の視点からの意見があり、とても勉強になった。
- ・委員の方々の発想のすばらしさ。
- ・みなさん、同じ考えだったこと。
- ・同じ様な意見を持っている方がたくさんいて、皆同じ事を思っていると感じた。
- ・誰かだけが住みやすい、暮らしやすいまちではなく、みんなが住みやすい、暮らしやすいまちをみんなが描いているんだなと感じることができた。
- ・問題点は多く出ましたが、それに対する対応策も有る事がわかりました。
- ・将来に向けて、あらためて考えさせられた。
- ・これからの世代に受け継ぐために何が必要なのか？いろいろ考えさせられた。
- ・それぞれの産業の課題が似ている。
- ・農地の問題が分かった。
- ・亀田縞のいいアイデアも出ました。
- ・未来からの視点の再認識ができた。
- ・評価を事前に考えることができ、「知っている」から「知ろう」という時間がとてもありがたいと思いました。
- ・短い時間でも、課題についてまとめることが出来る。

- ・皆さんの話を聞いて、地域に根付いた活動に尽力しようと思った。
- ・自分でやれる事をやる。
- ・欲しい情報をどこに誰に伝えればいいのかわからない人が多数いること。
- ・テーマが決まっているが、みんなつながっているテーマなので、もう少し広く捉えても良いのではないか。
- ・時間が足りない。

〈Q4〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

■嬉しかったこと

- ・色々な想いを話すことができ、また聞くことができた。
- ・各テーマについての多様な意見を聞く事ができた。
- ・たくさんの意見が聞けてよかった。
- ・色々な意見を聞いたこと。
- ・いろんな意見があり参考になった。
- ・沢山の意見、生の言葉はうれしかった。
- ・方向を共有できてよかった。
- ・もっと勉強することが分かった。
- ・進行されていた方が意見を上手に聞きだしていただきました。
- ・時間が短かったけど、集中して話せて、自治協ではちょうどよいかもと思いました。
- ・全体よかった。

- ・なし。

■残念だったこと

- ・時間が足りない印象…残念。
- ・時間がたりなかった。
- ・時間が短かったこと。
- ・時間が少なかった。
- ・もう少し時間があれば。
- ・最低1時間はほしい。
- ・発表時間が短かくて、全て出来なかった。
- ・発表時間がもう少しあって良かったかと思えます。
- ・残念ではないが、時間の配分がパンパンだった。
- ・残念なことはありません。
- ・なし

〈Q5〉 その他、気づいたことなど

- ・こういうワークショップもあるのかと感じました。
- ・進行も良かったです。
- ・テーマ別に、交代して再度開いてもいいのでは。
- ・話し合いのとき、にぎやかで耳がきこえなかった。

- ・もう少し、時間があつた方が？
- ・なし。